



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.187

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2023.10



医療法人社団 仁恵会 2023年度「永年勤続表彰」を行いました

仁恵会グループでは、永年勤続表彰制度を設け、勤続10年、20年に達する正職員を対象に、永年にわたる貢献・功績に感謝し、賞状並びに記念品を贈呈しています。

この度、9月4日（月）の朝礼後、2023年度「永年勤続表彰式」を挙行し、勤続10年を迎えた職員4名、20年を迎えた職員2名が表彰されました。

受賞された皆様からのメッセージをご紹介します。いただきます。



(石井院長と共に記念撮影：表彰式参加者)



本間 義章

用度課
用度担当

この20年間、私自身、担当している業務以外に感染管理（医療廃棄物管理）や防災管理などに携わってきましたが、皆様のご協力により、大きなトラブルもなく過ごすことが出来ました。

今後も皆様のお力をお借りし、微力ではありますが皆さんと共に石井病院の進化と発展の為に力になれるよう努めて参ります。



浅香 寛美

医師事務支援課
病棟管理事務

この度は、永年勤続表彰を頂き誠に有難うございます。皆様に支えられての20年でした。病院の移転・7部署での勤め。時のながれが今では早く感じられます。

これからの時世、益々早く変化していく中で皆様の助けをお借りしながら頑張りたく思っております。

また還暦を迎えた私にこの機会を頂いたことに感謝致します。



陰山 南

リハビリテーション部
理学療法士

この度は、永年勤続表彰をいただき、ありがとうございます。働きながら結婚、子育てとあつという間の10年間でしたが、これも働きやすい環境、支えてくださるスタッフあってこそだと感じています。

これからも、理学療法士として、よりよいリハビリを患者様に提供していけるよう、日々成長していきたいと思えます。



牟田 友佳

検査室
臨床検査技師

この度は永年勤続表彰を頂きありがとうございます。パートからのスタートで途中産休・育休もいただき、13年間お世話になっております。

家庭のことと両立しながらやりがいのある仕事ができる現在の職場環境を作り上げ、維持していただいているすべての職種の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

自分が成長させていただいた分を、病院や患者様へ貢献できるよう今後とも頑張ってまいります。



西田 園子

透析室
看護補助者

この度は永年勤続の表彰を頂きありがとうございます。

パートから正職員になり早10年が経ち、振り返ればあつという間のように思います。

周囲の方々に助けて頂き働き続けることが出来ました。感謝の気持ちで一杯です。

これからも前向きに頑張っていきたいと思えます。



清水 賀文

施設管理
施設管理担当

この度は、永年勤続表彰を頂き誠にありがとうございます。勤続10年の日々、医療サービスの裏方として僅かかもしれませんが貢献できた事を大変感謝しております。

今後におきましても、周りの方々に支えていただきながらですが、更に貢献できますように日々精進して参りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



～ 透析用水作製装置について ～

この度、当院の透析用水作製装置が最新機種に変更になりました。そこで透析用水作製装置の役割について説明します。

透析用水作製装置は水道水を透析に使用できる水にすることが一番の役割となります。

透析は1回あたり約100L～150Lもの透析液を使用しております。透析液は透析膜を介して血液と間接的に触れ合うため透析液は綺麗でなければなりません。図1に透析用水作成装置の内部構造を示しますが、多くのフィルタや装置を通り水道水から不要なものを取り除き、綺麗な水を作製しています。透析用水作製装置を通ったきれいな水をRO水と呼び、このRO水と透析剤を混ぜることで透析液は完成します。

透析用水作製装置の主要部分のフィルタ・工程について説明します。



人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
臨床工学技士
副主任
浜田 貴

プレフィルタ	プレフィルタは1次フィルタと2次フィルタがあります。1次フィルタは装置に入った水道水が最初に通るフィルタとなり、水道水に含まれる鉄さびや砂などを除去します2次フィルタは軟水化装置と活性炭ろ過装置の後にあり、微細片を除去します。臨床工学技士は毎朝このフィルタの前後の圧力を確認してフィルタが目詰まりしていないか判断します。また定期的にフィルタを交換しております。
軟水化装置	水道水の中にはカルシウムイオン (Ca ²⁺) やマグネシウムイオン (Mg ²⁺) といった硬度成分が含まれています。これらが水の中に多いと塩素と合わさって塩化ナトリウムや塩化カルシウムになります。これらは、他のフィルタを詰まらせる原因となる為、軟水化装置でCa ²⁺ やMg ²⁺ を取り除きます。臨床工学技士は専用の試薬を使って軟水化されているかを毎朝確認しております。
活性炭ろ過装置	溶血（赤血球が破壊される現象）の原因となる遊離塩素や結合塩素を吸着します。水処理装置の中で、塩素を除去できるのは活性炭ろ過装置だけです。臨床工学技士はこの装置で除去する塩素が装置の後に残っていないかを専用のキットで毎朝検査しております。
ROモジュール	RO膜を用いて、水中のイオン類、エンドトキシン、生菌、細菌、ウイルス、微生物、などを除去します。
紫外線殺菌灯	紫外線による微生物への殺菌効果を利用し透析用水を殺菌します。

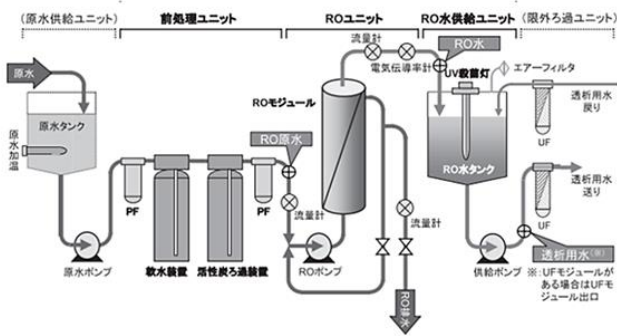


図1 透析用水作製装置のフロー図 2016年版 透析液水質基準から引用



透析用水作製装置の外観

今回、導入された透析用水作製装置はこれまでの機種以上に水の清浄化能力が上っており、水道使用量や電気代を抑えることができランニングコストにも優れています。

また、装置に問題が発生した際にスタッフへメールでその内容を通知する機能も備えており、休日等でスタッフが院内に不在であっても問題内容を確認でき早期に対処ができるようになっております。

私たち臨床工学技士は医療機器の専門医療職であり、患者様に安心安全な透析を提供できるように、当院にあるすべての医療機器の保守点検を毎日徹底して行っております。今後も患者様に満足していただける透析を提供するべく業務に励んで参ります。透析についてご不明点ございましたらスタッフまでお気軽にお尋ね下さい。今後ともよろしくお願い致します。

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 古門 上野 西村

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>